

平成28年度 西日本産業貿易コンベンション協会 事業報告書

I 公1：見本市・展示会事業（公益目的事業）

1 主催・共催事業

(1) 西日本地域の経済活性化や産業・貿易の振興に寄与するため、国や地域の行政機関等の施策や方針との連携を図りながら、各種の見本市・展示会等を企画・開催した。展示会等を取り巻く環境変化に対応するため、国や地方公共団体の政策展開の場としての展示会のテーマ開発やビジネス取引拡大の場づくりなど事業の再構築を行っている。

◆当協会が主催・共催した主な見本市・展示会 ()内は27年度実績

事業名	開催期日	入場者数	出展社数
西日本製造技術イノベーション2016	6月15日～17日	14,688人	49社・団体(58)
第42回ふくおか産業技術振興展		(15,096)	22社・団体(23)
第38回西日本陶磁器フェスタ	9月15日～19日	49,258人 (55,727)	205社(209)
エコテクノ2016～地球環境ソリューション展～	10月12日～14日	34,896人 (28,432)	66社・団体(86)
エコテクノ2016～エネルギー先端技術展～			72社・団体(99)
エコ・ベンチャー・メッセ2016			22社・団体(24)
中小企業テクノフェア in 九州2016			61社・団体(71)
P.P.C.2016 第18回西日本国際福祉機器展	11月24日～26日	19,903人 (21,003)	144社・団体(151)
SAFETEC2016 [第2回西日本防災・防犯危機管理展]	11月10日～11日	5,098人 (10,052)	71社・団体(85)
合計	9事業 (10事業)	123,843人 (174,309)	712社・団体(1,003)

※27年度の合計には、「西日本インポートフェア&食メッセ2015」の実績を含む。



第38回西日本陶磁器フェスタ



エコテクノ2016

【事業の効果的な推進に向けた主な取り組み】

ア 見本市・展示会の再構築

各展示会の目的や意義と社会・経済情勢などを勘案しながら、常に開催内容を見直しつつ、関心を高める努力を行った。

○「西日本製造技術イノベーション」における取り組み

北九州ロボットフォーラム定期総会記念講演と併せて開催したロボット産業に関するセミナーのほか、北九州市が推進する「産業用ロボット導入支援制度」の紹介や地元中小企業への普及促進を目的としたセミナーを併催した。また、航空機・自動車産業で注目を集める新素材「CFRP(炭素繊維強化プラスチック)」の普及・啓発を目的に特別企画展を開催した。

イ 国際化の推進

国内市場が縮小するなか、海外との取引拡大の機会提供に注力した。

○エコテクノ～地球環境ソリューション展～国際環境ゾーン

環境を軸とした産業の活性化に寄与することを目的に、エコテクノ2016に海外企業10社、1団体と海外投資支援機関1機関が出展し、商談と情報発信を実施した。

ウ 成果のあがる展示会の構築（継続的マッチング支援）

主催展示会での販売促進や商談の支援のため、出展社とユーザーとの橋渡しに努め、より大きな成果が得られるように会期前後の活動を強化した。

○西日本国際福祉機器展

「東アジア経済交流推進機構第3回国際ビジネス部会」の開催に併せて韓国釜山市、仁川市より3社が出展。国内バイヤーとの取引拡大を求めて対応を行った。

○中小企業テクノフェア in 九州2016 ビジネスマッチング事業

大手企業OBの技術者で構成する「NPO法人北九州テクノサポート」と連携し、出展社の技術とノウハウを理解するための事前ミーティング、市内主要企業への事前PRや調整を行い、ビジネスマッチングをきめ細かくサポートした。

(2) 主催・共催事業と並行して関連するセミナー、シンポジウムを開催した。

(134テーマ、参加者数6,369人)

2 関係団体との連携事業

(1) 主催事業における産学官連携

主催事業のうち、産業技術分野の展示会では、国、県、北九州市や大学、関係団体、研究機関等と連携し、効果的な事業推進を図った。

(2) アジアとの連携・交流

ア 韓国BEXCO(釜山国際展示場)とのMOU事業

平成27年10月のMOU締結以来、BEXCOと主催事業の相互出展やベトナム環境展において九州企業の販路拡大を支援してきた。29年2月には、BEXCOのハムCEOとさらなる展示・コンベンション事業等の連携を進めることを合意し、今後も新しいテーマの展示会で相互交流を進める中で、自主事業の国際競争力の強化に努める。

イ アジアの関係団体等への展示会出展誘致活動の充実

エコテクノに韓日産業技術協力財団を通じて韓国企業7社が出展して商談を実施した。また、BEXCOが主催する「ENTECH釜山」とのブース交換により韓国企業2社が出展したほか、香港貿易発展局も出展し、展示とプレゼンテーションを実施した。さらに、西日本国際福祉機器展内にて「KORECA」のPRブースを設けた。なお、当協会からは「ENTECHハノイ」「ENTECH釜山」「KORECA2016」に出展した。ハノイでは5社、釜山では1社の企業を参加コーディネートし、アジア地域での取引拡大を図った。

ウ 福岡県・北九州市との連携

エコテクノ会期中、福岡県・北九州市と協力して、環境技術の輸出促進や国際競争力の強化を図ることを目的に、「タイ・ミャンマー環境ビジネスセミナー」を実施した。

(3) 新規見本市の開発

「西日本インポートフェア&ふるさと食メッセ」をテーマから見直しを図り、輸入品から世界の良品に視点を広げるとともに、九州の成長産業と見込まれる観光分野をテーマに加えて「ワールドマーケット&ツーリズム」として企画を再構築した。

(4) 熊本・大分地震の復興支援

平成28年4月に発生した熊本・大分地震災害では、展示会に関する様々な団体・企業が被災した中で、協会施設や主催事業を活用して復興支援に取り組んだ。

ア 西日本陶磁器フェスタ

グランメッセ熊本で長年、開催されていた「ましきメッセもやい市」を同施設事務局と協働し、益城町などから生産者を招いて西日本陶磁器フェスタと同時開催した。併せてロールケーキフェスタの売り上げの一部を熊本県に寄付した。

イ エコテクノ

被災された熊本・大分両県の環境・エネルギー関連企業の販路開拓・情報発信の拡大の一助となるべく震災復興支援ブースを設けた。(参加数6社6小間)

ウ SAFETEC (防災・防犯危機管理展)

熊本県知事蒲島郁夫氏を招いて特別講演会を開催した他、会場内で熊本地震写真展を開催して熊本の現状を来場者に認識してもらう取り組みを行った。

II 公2：会議・大会等 (公益目的事業)

1 誘致・支援事業

(1) 北九州市が平成27年にグローバルMICE強化都市に選定されて以来、海外見本市・商談会やコンベンションビューローの国際組織であるICCAの総会、JNTOのキーパーソン招聘事業等に積極的に参加し、海外ネットワーク拡大とキーパーソンへのコンタクトを図った。また、地元MICE業界を束ねる北九州市グローバルMICE推進協議会を発足し、地元のバックアップ体制を強化した。なお、観光庁作成の「MICE開催による経済波及効果測定モデル」によれば、28年度の当協会の誘致案件のみによる経済波及効果(間接2次波及効果、雇用効果を含む)の推計値は119億2,110万円であった。

◆年間別開催件数の推移 (単位：件)

区分	国際	全国	その他	合計
28年度	90	73	102	265
27年度	75	91	113	279
26年度	63	103	132	298

◆年度別参加者数の推移 (単位：人)

区分	国際	全国	その他	合計
28年度	44,580	104,687	53,997	203,264
27年度	47,906	108,105	63,191	219,202
26年度	49,207	75,054	79,018	203,279

(2) 国際規模をはじめとする学会・大会等の誘致に積極的に取り組んだ結果、平成28年度の開催状況は、265件となった。

また、これらの誘致活動および開催助成金の効果的な活用成果として、29年度以降に合計115件(29年3月31日現在)のコンベンションが予定されている。

◆28年度開催の主な会議・大会

規模	名称	開催時期	会場	規模 (外国人数、人数)
国際	世界ダンススポーツ選手権ユース・スタンダード2016	H28年7月	北九州市立総合体育館 AIM	7,000人 (40カ国970人)

	ISMB15(第15回磁気軸受に関する国際会議)	H28年8月	門司港ホテル	840人 (19カ国548人)
	FFW2016(第5回機械材料の疲労破壊に関する国際会議)	H28年8月	北九州国際会議場	192人 (12カ国75人)
	AFC2016(第3回アジア未来会議)	H28年9月	北九州国際会議場 北九州大学北方キャンパス	1,200人 (17カ国900人)
	IRC2016(2016年国際ゴム技術会議)	H28年10月	西日本総合展示場新館北九州国際会議場	4,400人 (29カ国900人)
	第2回 ONE HEALTHに関する国際会議	H28年11月	リーガロイヤルホテル小倉	1,278人 (30カ国160人)
	PPTox V(第5回出生前プログラミング及び毒性Vに関する会議)	H28年11月	北九州国際会議場	840人 (15カ国600人)
	J&J Award Meeting 2016 in FUKUOKA	H29年3月	西日本総合展示場新館・AIM リーガロイヤルホテル小倉	1,905人 (10カ国14人)
全国	2016年度人工知能学会全国大会(30回)	H28年6月	北九州国際会議場 AIM	3,500人
	日本ケアマネジメント学会第15回研究大会 in 北九州	H28年6月	北九州国際会議場 AIM	2,040人
	第70回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会・第71回三笠宮杯全日本学生ソフトテニス選手権大会・第58回全日本学生ソフトテニス選手権大会	H28年8月	三萩野庭球場 穴生ドーム	8,500人
	第25回全国盲ろう者大会	H28年8月	西日本総合展示場新館 AIM	2,236人
	日本応用数理学会2016年度 年会	H28年9月	北九州国際会議場	1,205人
	第25回プレレストコンクリートの発展に関するシンポジウム	H28年10月	北九州国際会議場 AIM	1,254人
	第59回自動制御連合講演会	H28年11月	北九州国際会議場	1,605人
西日本九州	第3回九州保育三団体研究大会	H28年7月	ソレイユホール 北九州国際会議場	4,506人
	第44回マーチングバンド全国大会九州予選・第21回マーチングイン九州2016	H28年10月	北九州メディアドーム	3,760人
	春の全国小学校ドッジボール選手権大会 福岡県予選大会	H29年2月	北九州市立総合体育館	4,000人



ユニークベニューを活用したレセプション (PPToxV)



2016年国際ゴム技術会

2 主催・共催事業

国際会議場等を活用し、幅広い年齢層を対象に各種イベントを実施した。

◆イベント・大会等の企画、開催（主催・共催） ※（ ）内は27年度実績

事業名	開催期日	入場者数
小倉まちづくりミーティング泡盛ナイトinこくら	H28年8月23日/H29年2月9日	延べ386人(延べ400人)
夏休みこどもシアター	H28年7月24日	260人(263人)
第16回全国俳句大会in北九州	H29年3月4日～3月5日	1,578人(1,485人)
第24回北九州将棋フェスティバル	H28年9月17日	688人 (H27年度は延期。実績無)

Ⅲ 公3・収1・収2：貸館利用者の誘致・営業強化

1 営業体制の強化

(1) 既存利用者の利用定着化及び過去の利用者の利用復活

過去の顧客データを分析するとともに、利用頻度が減少している顧客に対し、定期訪問による利用の働きかけや集客支援等の提案営業を実施し、10件の利用の復活を実現した。

(2) 新規利用者の開拓

食品機械関連や住宅、コンビニチェーンなど29件の新規展示会や講習会等を開催した。

(3) 大規模イベントの実施

8月に浅田真央を座長とするスケートショー「THE ICE (ザ・アイス)」を初開催、10月に2回目となる「東京ガールズコレクション」を開催、3月に「福岡カスタムカーショー2017 in KITAKYUSHU」を初開催した。

(4) 「営業推進本部」の機能強化

7月に営業課が北九州国際会議場に移転し、サービス課と同一フロアで業務に当たることにより質の高い貸館サービスの提供と情報共有を進め、「営業推進本部」の機能を強化した。

◆平成28年度 新規及び利用が復活（※）した展示会・見本市等の誘致実績

催事名	会期
ビッグ・イヤー・アンツ(トラック駐車場として搬入路利用)	H28年4月2日～3日
第48回ファディ大展示商談会（※）	H28年4月17日～18日
丸菱展示会出展者説明会	H28年5月25日
ポケモンカードゲーム カメックスメガバトル	H28年5月29日
SKE48 19th 「チキンLINE」全国大写真会	H28年6月11日
医師と医療スタッフのための糖尿病療養指導セミナー（※）	H28年6月12日
ネオフェスタ2016 新商品発表会	H28年6月22日～23日
2016九州こいけ市（※）	H28年6月24日～25日
2016年タチカワブラインド新製品発表会	H28年7月6日～7日
どてらい市（※）	H28年7月9日～11日
プラレール博 in KITAKYUSHU（※）	H28年7月16日～19日
丸菱総合展 工程会議	H28年7月26日

だめな義歯からよい義歯セミナー	H28年7月30日
ブレイブフロンティア3周年ファン感謝祭	H28年8月7日
LOTTE presents THE ICE(ザ・アイス)	H28年8月10日～11日
創業95周年記念パーティ	H28年8月21日
MOTOYA JOINT FAIR & Seminer in 小倉	H28年8月29日～30日
丸菱 食品機械と原材料 総合展	H28年9月1日～2日
第三種電気主任技術者試験	H28年9月4日
FP技能検定試験	H28年9月11日
ひびしんビジネスフェア2016 出展社向け事前説明会（※）	H28年9月16日
TDYリモデルフェア in 九州	H28年9月24日～25日
第17回 全国水墨研究会合同展（※）	H28年9月28日～10月3日
九州矯正展（※）	H28年10月1日～2日
電気工事士筆記試験(第一種、第二種)	H28年10月1日～2日
創立80周年記念「日専連マーケット」説明会	H28年10月3日
2016 ウェルディングフェスタ in 北九州（※）	H28年10月8日～9日
平成28年度宅地建物取引士資格試験	H28年10月16日
ひびしんビジネスフェア2016（※）	H28年10月19日
Fun&Fresh 商品セミナー2016	H28年10月25日～26日
大販売会 日専連マーケット	H28年11月18日～20日
FGO 冬祭り 2016-2017 ダ・ヴィンチちゃんコード	H28年12月17日
超体験！ふしぎな科学の遊園地 in 北九州	H28年12月23日～25日 H29年1月2日～4日、1月7日～9日
FP技能検定試験	H29年1月21日
筑紫女学園大学 一般入試(前期日程)北九州試験場	H29年1月31日
HKT48 全国握手会(8th シングル「最高かよ」)	H29年2月5日
福岡カスタムカーショー出展社説明会	H29年3月8日
2016 Award Meeting in Fukuoka	H29年3月11日
福岡カスタムカーショー2017 in KITAKYUSHU	H29年3月25日～26日

2 閑散期対策等のイベントコーディネート

(1) 夏季閑散期にぎわいイベント

7月に「プラレール博 in KITAKYUSHU」を地元テレビ局のFBS福岡放送と本館で開催した。平成26年度に続く2回目の開催であり、来場者数は当初予測より増加し、約4.4万人で安定した人気を誇った。



プラレール博 in KITAKYUSHU

(2) 冬季閑散期にぎわいイベント

12月の3連休と1月の年始に「超体験！ふしぎな科学の遊園地 in 北九州」を新館で初開催した。FBS福岡放送とサガテレビの2社が、系列局の垣根を越えて主催となる画期的なにぎわいイベントとなった。



超体験！ふしぎな科学の遊園地 in 北九州

◆平成28年度 閑散期対策イベント等 (※)は新規開催

催事名	会期	入場者数
プラレール博 in KITAKYUSHU	7/16~19	43,503名
超体験！ふしぎな科学の遊園地 in 北九州 (※)	12/23~25、1/2~4、1/7~9	27,852名
合計		71,355名

IV 公1・公2・公3・収1：広報・宣伝、地域連携

1 広報、宣伝

ホームページにおいて、イベントの最新情報や施設の紹介、協会の主催事業やコンベンション誘致に関する情報を提供し、見やすく迅速な情報発信ができるように努めた。

2 地域連携

小倉駅新幹線口エリアの地域振興団体と共同で、異業種交流会や地域清掃イベント等を行うなど、地域の一体感形成に向けた活動やにぎわいづくりにも取り組んだ。

さらにJR主要駅に近接しているという施設の特徴を生かすため、JR九州及びJR西日本との連携による、効果的な主催事業等のPRを行った。



小倉まちづくりミーティング 泡盛ナイト

V 公3・収1・収2：管理・運営

1 お客様満足度の向上

(1) サービスの向上

利用者にわかりやすい情報を提供するため、ホームページ上の写真の更新やサービスの詳細を追加したほか、申請書ダウンロードの手順説明を加え、利用者、施設管理者双方の手続き業務の効率化を図った。そのほか、スタジアムの建設に伴い交通規制や工事が発生したが、建設業者との綿密な打合せにより利用者に悪影響が生じないように努めた。

(2) 職員の資質・能力の向上

専門講師を招いた企画力向上によるプレゼンテーション能力強化のための研修の実施や、民間研修機関主催のコミュニケーションスキル研修及びセルフリーダーシップ研修への派遣等、MICE推進機関としての役割を果たすため職員の資質・能力の向上を図った。

2 利用料金制度の活用

平成26年度に新設したスポーツ利用及び名古屋市との相互利用割引制度が利用されており、今後もこれらの特別料金制度を活用することでさらなる施設の利用を促進する。

3 管理業務の効率化

電力使用料金の低減を図るため、平成28年度より、電力会社を変更し、引き続きデマンドの監視、力率の改善、空調動力の時差運転の実施等、消費電力の削減に努めた。

4 施設の改修等

お客様の利便性、安全性の向上等を図るため、施設設備の改修更新等を行った。

*展示場本館：空調設備更新、外壁塗装、シャッター改修、建具入替、天井漏水箇所改修

*展示場新館：防災システム更新、排水ポンプ更新、蓄電池更新、屋上ドレイン管改修

*国際会議場：イベントホールテラスの壁・床石補修工事、LANケーブル不良箇所修繕

5 施設の稼働率等

◆西日本総合展示場本館の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
28年度	65	252	78.5	27
27年度	72	279	77.5	30
26年度	70	277	78.7	40

◆西日本総合展示場新館の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
28年度	163	299	81.8	57
27年度	166	297	84.1	65
26年度	159	281	81.7	46

◆北九州国際会議場の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
28年度	568	321	92.2	7
27年度	548	319	90.4	7
26年度	577	321	91.5	7

6 合併に向けた取組

組織基盤の強化、拡充を図り、MICE誘致及び観光振興をより一層推進するため、北九州市観光協会との合併作業を進め、県の認可を経て、29年度より新たに公益財団法人北九州観光コンベンション協会として発足することとなった。

7 指定管理

指定管理期間(26年度から30年度)の3年目であった28年度は、指定管理計画に掲げた目標(来場者数(展示場・会議場)76万人、コンベンション誘致件数185件など)を概ね達成(来場者数90万人、コンベンション誘致件数195件など)した。

<参考>平成28年度 北九州市のMICE開催実績

区分	件数	参加人数	経済波及効果(間接・雇用効果を含む)
会議・大会等	265件	203,264名	11,921百万円
見本市・展示会・イベント	21件	258,497名	12,161百万円
合計	286件	461,761名	24,082百万円

※開催実績の対象は、以下の2つの条件を満たすもの。ただし、展示即売など主に営業目的とするものは除く。

①北九州市MICE誘致推進本部事務局(北九州市産業経済局観光にぎわい部及び当協会)が誘致・開催支援・実施したもの。

②北九州市地域以上を参加規模とするもの。

※経済波及効果は、観光庁の「MICE開催による経済波及効果測定モデル」により算定。